

## 国指定重要無形民俗文化財「幸若舞」



1月20日、大江天満神社で幸若舞(国指定重要無形民俗文化財)が奉納されました。幸若舞は室町時代に発祥し、織田信長など多くの戦国武将に愛されました。700年の伝統があり、歌舞伎をはじめ多くの芸能や文化に影響を与えたといわれる幸若舞を見られるのは全国でも大江地区のみです。今年「演出」(日本記)「和泉ヶ城(四)」(安宅(上))「安宅(下)」の5つの演目が上演されました。

## 地域のヒーロー消防団



1月8日、市消防本部屋外訓練場で市消防出初式が行われ、消防関係者約170人が参加しました。長年にわたり消防活動に尽力された、162人と2団体が表彰を受けました。小学生・中学生の防火ポスター・防火作文入賞者の表彰も行われました。式典で三小田消防団団長は「消防団一丸となって市民の皆さまからの期待に応えられるよう努めていきたいと思います」とあいさつしました。

## 成人としての誓いを新たに



▲成人代表あいさつ (午後の部)  
1月9日、まいぴア高田で成人式が行われました。新型コロナウイルス拡大防止のため、午前(瀬高)と午後(山川・高田)の2部制での開催となり、計309人が参加しました。新成人を代表して、岩田小学校出身の柿添真伍さんが「これから先、大きな困難が待っているかと思いますが、新成人全員で乗り越えていきます」と決意を述べました。

## 安全・安心なまちづくりに尽力



▲総務大臣表彰を受賞した古賀さん (写真中央)  
1月21日、市防災協会・監事の古賀芳幸さんが市役所を訪れ、安全功労者総務大臣表彰を受賞を報告しました。古賀さんは、平成11年に三山地区防災協会(現在の市防災協会)の監事に就任し、役員として20年以上に渡り、会の運営と発展に貢献されています。また、自治体主催の防災訓練に積極的に参加し、防火・防災思想の普及に努めるなど、地域の安全・安心なまちづくりに尽力されています。

## 地域ふれあい食堂「あるにこ食堂」



1月15日、ルフランカフェで、誰もが集える居場所づくりをコンセプトとして地域ふれあい食堂「あるにこ食堂」がオープン。地元農家さんの野菜や果物、市内企業からお餅、調味料の提供がありました。メニューはお餅(きなこもち・ぜんざい・だいこん・磯部巻き)。参加者からは「おいしかった。またやりたい」などの感想が聞かれました。今後は毎月第3土曜日に開催していく予定です。

## 福岡県予選を勝ち抜き全国大会へ



12月24日、瀬高剣友会の横尾なみさん(瀬高小6年)、植田良心さん(瀬高小6年)、末吉栄達さん(大江小5年)が市役所を訪れ、「第55回全国道場少年剣道大会小学生団体試合の部」への出場を報告しました。主将の横尾さんは「感謝の気持ちを持って全力で楽しみたいです」と抱負を語りました。全国大会は1月5日に開催。福岡県の代表として健闘しました。

## 探載 みやまたんてい

～その時代の風物や動植物などを探して掲載します～



優しい光で  
神社を彩る  
竹灯籠

12月31日から1月5日にかけて、高田町の竹飯八幡宮で「竹飯竹灯籠会」の皆さんによる手作りの竹灯籠が境内に並びました。  
地元の有志の皆さんが、年末年始に訪れてもらおうと始めてから9年目。今回も、細かい細工が施された竹灯籠のあたたかく幻想的な明かりが境内を包み込みました。